

総合戦略KPI

基本目標番号	施策番号	施策内容	担当課	KPI	実績の根拠	現状値(H27)	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	H31実績	目標値(H31)	目標(H31)	評価	H31状況	H31課題・評価	総評
基本目標1 おらほ自慢の「逸品」と「ひと」をひとねる(育む)	施策1: 町内企業へのサポートによる雇用の確保	◆町内企業への誘引を図るため、移住者向けパンフレットの作成を行います。また、都市圏において、当町のPR活動を実施し「見てもらう・知ってもらおう」認知度の向上を目的としたパンフレットを作成し銀座NAGANOでのPR活動を行います。【先行型】 ◆Uターン者に対し、町内企業への就職に向けた企業説明会や小中学校・県立阿南高等学校との連携を図りながら、企業見学や体験学習等を通じ、町内への就職意識を高めます。 ◆町内企業への就職者・企業に対し奨励・補助等の支援を図ることにより、企業の雇用確保と地元就職への推進を図ります。【先行型】 ◆行政と町内企業が連携を図りながら、地域貢献事業(CSR)や地元の若者が就職を希望するような仕組みづくり等の課題について検討を行う組織を立ち上げ、事業の推進を図ります。 ◆個人事業が継承できるよう、店舗改築等の総合的な支援を推進します。また、地域内循環を図り、地域が活性化する仕組みや支援を検討します。	振興課 振興係	①町内企業(官民)連携組織立ち上げ	工業振興協議会	0団体	0	1	1	1	1	1	1団体	○	工業振興協議会を実施。定期総会を開催し情報交換会を行うと共に、就職ガイダンスへの参加や阿南高校生による町内企業視察などの活動を行った。	町内企業視察への参加人数が少なかったが個々の質問等にきめ細かく対応できた。特定日に限らず、工業振興協議会が機能連携し、視察等の対応に努めたい。引き続き、情報共有を図っていく。	目標を達成し、企業との連携を深められた。継続した連携が期待される。
			振興課 振興係	②企業説明会等による地元就職者数	就労祝い金、かえっておいないう交付人数	0人	10	7 (17)	3 (20)	6 (26)	5 (31)	8	5年間で8人	○	県主催の就職ガイダンスに参加。南信州菓子工房 2名、阿南荘 1名 KOA榊七久里/杜 1名 綿半ソリューションズ 1名 計5名	企業訪問や就職ガイダンスへ参加し、就職者の確保が図られた。	目標を達成し、地元就職者が確保された。今後も就農ガイダンス等への参加を推進する。
			振興課 振興係	③町内における圏域高校新卒採用者数【先行型】	雇用奨励補助金交付人数の内高校新卒者	10人/年間	7	4	3	2	5	12	12人/年間以上	×	基本目標1施策1KPI②と同じ 平成29年度から、興亜エレクトロニクス株式会社が中心となり工業振興協議会と協働で県主催の就職ガイダンスに参加した。 興亜2名、南信州菓子工房2名 阿南荘1名 計5名	基本目標1施策1KPI②と同じ 企業訪問や就職ガイダンスにより、就職者の確保が図られた。	高校新卒者の採用者数の目標は達成できなかったが、圏域高校へのPRを幅を広げて行っていきたい。 なお、商工会及び各企業では個別に学生の職場見学や就職ガイダンスを実施しているため、こういった動きとも引き続いて連携をとっていく。
			振興課 振興係	④施設の生産規模拡大を行う企業件数	建設業等機械設備導入補助金の件数	1団体	1	5	4	1	0	2	2団体	○	商工会等の要望により、建設業等機械設備導入補助金(時限立法H31.9まで)にかわる設備投資にかかる補助事業を検討。 南信州菓子工房が設備拡充が完了し、実績を伸ばしている。 実績なし	生産規模の維持と拡充を目的とした、現状に沿った補助事業を検討することが必要。	建設業等機械設備導入補助金等の効果検証を踏まえ、新規事業展開を検討し、令和2年度から機械設備備品リフレッシュ補助金制度を開始している。
			振興課 振興係	⑤個人事業者の店舗改装による売上比	不要 ※H31検証	0%	0	-	-	-	-	値なし	平成27年度対比10.0%以上	-	値なし	平成29年度末で商店等リフレッシュ補助制度を終了した。	同上
			振興課 振興係	⑥移住・観光パンフをイベント配布枚数【先行型】	観光と移住/パンフ配布数	3,000部 移住・観光(各)	10,800	5500 (16,300)	10540 (26,840)	10,550 (37,390)	9100 (46,490)	15,000	5年間で15,000部移住・観光(各)	○	観光PRイベントや移住セミナー等に参加し、パンフレット等の配布を実施。 H27 観光10,000部、移住800部 H28 観光 5,000部 H29 観光10,490部、移住 50部 H30 観光10,400部、移住150部 H31 観光 9,000部、移住100部	観光パンフレットの配布先の内訳は、町内施設等の県内施設への配布を4,000部、観光イベント等での県外での配布を5,000部。 効果検証がしにくい事業だが、ツイッターなどで評価を募ったり、評価の明確化を図りたい。	目標値である発行部数は、大幅に達成したが、評価方法の明確化を図りたい。
			振興課 振興係	⑦道の駅やかじかの湯など町内主要観光入込客数【先行型】	新野高原・阿南温泉・二瀬キャンプ場の合計	30万人	324,800	295,100	277,600	265,900	240,100	364,652	前年比5%増	×	本年度に道の駅の大規模改修工事を実施した。 キャンプ場のバンガロー予約をインターネット受付化。利用者が増加したが、他の施設では減少傾向。 H30 新野高原 161,900 かじかの湯 94,700 二瀬CP 9,300 H31 新野高原 149,300 かじかの湯 85,700 二瀬CP 5,100	減少の要因は、道の駅では大規模改修、かじかの湯では定期利用者の減少、キャンプ場は河川工事による休業が推測される。 次年度は、リニューアルオープンや利用者の特化したサービス、全日営業等により回復を目指したい。	目標値である前年比5%の増は達成されなかったが、原因が明確であるため、引き続きパンフレットやインターネットを活用したPRを継続し、現状維持以上を確保したい。 また、道の駅とかじかの湯の業務展開については、コロナ等の状況を踏まえて今後随時検討を行っていく。

総合戦略KPI

基本目標番号	施策番号	施策内容	担当課	KPI	実績の根拠	現状値(H27)	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	H31実績	目標値(H31)	目標(H31)	評価	H31状況	H31課題・評価	総評
		◆町内企業への誘引を図るため、移住者向けパンフレットの作成を行います。また、都市圏において、当町のPR活動を実施し「見てもらう・知ってもらう」認知度の向上を目的としたパンフレットを作成し銀座NAGANOでのPR活動を行います。【先行型】	振興課 振興係	⑧都市圏でのPR活動【先行型】	都市圏で行った観光PRイベント数	6回	6	10 (16)	9 (25)	8 (33)	8 (41)	30	年6回	○	県や広域連合、県境域開発協議会との連携を図り、観光PRイベントを行っている。 H28 長野市1回、東海6回、関東3回 H29 東海8回、関東1回 H30 東海7回、関東1回 H31 東海7回、関東1回	例年どおり、主たるイベントへの参加ができた。可能な限り、PRに効果的なイベントに参画していきたい。	目標値を達成し、PR活動が実施できた。 今後はHPなどを利用したPR活動も積極的に展開したい。
		◆Uターン者に対し、町内企業への就職に向けた企業説明会や小中学校・県立阿南高等学校との連携を図りながら、企業見学や体験学習等を通じ、町内への就職意識を高めます。 ◆町内企業への就職者・企業に対し奨励・補助等の支援を図ることにより、企業の雇用確保と地元就職への推進を図ります。【先行型】 ◆行政と町内企業が連携を図りながら、地域貢献事業(CSR)や地元の若者が就職を希望するような仕組みづくり等の課題について検討を行う組織を立ち上げ、事業の推進を図ります。 ◆個人事業が継承できるよう、店舗改築等の総合的な支援を推進します。また、地域内循環を図り、地域が活性化する仕組みや支援を検討します。	総務課 企画財政係	⑨移住に対する問合せ【先行型】	移住セミナーの参加者数	6件	6	0	46	150	155	60	12件/年	○	平成29年度から関東・関西・東海圏の移住セミナーに参加し、移住PRを行っている。 H29 関東2回16名、関西1回12名、東海3回18名 H30 4/21東京17名、5/20東京69名、9/8名古屋32名、11/17名古屋32名 R1 6/1名古屋36名、6/8東京66名、11/16東京35名、11/30名古屋18名	令和元年度には、南信州に実際に来てもらう試みとして、①飯田市・西南部コース、②南部コース、③北部コースの3つに分けて、移住体験ツアーを新たに実施した。(11名参加)	今後も南信州の市町村と連携し、移住施策を進めていく。
			民生課 福祉係	⑩阿南高等学校と福祉施設の連携による体験学習	体験学習の回数	1回	4	4	5	14	21	5	継続して実施	○	高校の授業のカリキュラムで実施している。実績には含めないが、阿南病院の体験学習も行っている。 H28 阿南荘1回、社協2回、赤石寮1回 H29 阿南荘2回、社協2回、赤石寮1回 H30 阿南荘5回、社協7回、赤石寮2回 R1 阿南荘5回、社協14回、赤石寮2回	阿南町社会福祉協議会：採用2名 体験学習が福祉施設への就職に結びついてきた。	実習の受入れも増えてきており、就職への結びつきも少しずつ増えている。 特に介護、福祉業界については、人材不足が恒常的に問題となっており、施設側も人材確保につながる取組について協力的であるため、今後も連携を取りながら実施していく。
	施策2:「あなんの誉」(ふるさと納税米)を軸にした継続的な産業の振興	◆農業振興策の主軸である「あなんの誉」(ふるさと納税米)のブランドを今以上に浸透させるために、情報発信を積極的に行います。また、ふるさと納税者を交流から移住に誘引する政策を検討します。	振興課 振興係	①ふるさと納税による寄付額	年度毎の実績	2億円	2	2.4	2	2.3	1.64	4	4億円	×	H27 米195百万、一般7百万、計202百万 H28 米229百万、一般10百万、計239百万 H29 米196百万、一般5百万、計201百万 H30 米229百万、一般2百万、計231百万 H31 米162百万、一般2百万、計164百万	国の返礼割合を達成。 24,892千円を基金に積立て。	目標4億円は達成できなかったが、町内生産量である米4,237俵と特産品等を町外に発送しPRできた。 なお、目標に対して実績が伸び悩んだ要因としては、平成29年度からふるさと納税の制度について順次見直しが進められてきた影響が考えられるが、返戻品の割合が低く抑えられたことによりふるさと納税1件あたりの町の利益率は向上している。
		◆毎年、寄付が全国から殺到するふるさと納税米の「あなんの誉」の集荷量を向上させるために、集出荷施設等の施設整備の推進を図ります。 ◆担い手不足で耕作放棄地となりそうな農地の集約化と、農業経営者の組織化を推進する仕組みづくりを検討します。 ◆ふるさと納税の実績や需要の情報提供を図ることで、地域の生産者の意識の高揚を図り、生産量、集荷量を向上させ、60歳からの就農を推進します。 ◆就農者が、安定した農業生産及び経営を図れるよう基盤整備を計画的に実施します。	振興課 振興係	②ふるさと納税米の集荷量	ふるさと納税米実績	7,400俵	7,377	8,747	7,394	8,533	4,237	14,800	14,800俵	×	H30 町内産米 4,045俵 町外産米 2,628俵 JA米 1,860俵 H31 町内産米 4,237俵	国の返礼割合を達成。 24,892千円を基金に積立て。	目標である14,800俵には大きく届かなかったが、町内出荷量である米4,237俵をふるさと納税と町内消費で出荷できた。 特に平成31年度は返戻品割合の規制(3割以内、地場産品限定)が適用されたことから、寄付額に対して返戻品となるふるさと納税米の出荷量がより少なくなった。
			振興課 振興係	③集出荷施設の整備	信州アトム	0施設	0	0	1	1	1	1	1施設	○	平成29年度に現在の信州アトムの施設整備済み。	国の返礼割合を達成。 24,892千円を基金に積立て。	目標を達成し、ふるさと納税米等を安心・安全に出荷できる体制が整った。

